

# 同窓会通信

第3号 平成23年6月1日発行 天理看護学院同窓会



同窓会会長 鈴木あきよ

天理看護学院同窓生の皆様お元気でお過ごしでしょうか。昨年10月から2科9期生の鈴木が同窓会会長を勤めさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願い致します。

このたびの東北太平洋沖地震によって被災された会員ならびにご関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。またご自身やご家族が被災した中でも支援活動を行っておられる方々に心から敬意を表したいと思っております。今回の震災はかつてない規模であり、広域に被害が及んでいます。震災から2ヶ月以上経過し、日本中で多くの方々が復旧、復興に向け取り組んでおられますが、原発事故の影響なども大きく長期にわたる支援が必要とされていると思っております。

天理よろづ相談所では職員から義援金を募り、道友社を通して募金をしました。また、災害救護活動としては奈良県医療救護班(第6班)としてチームが生まれ(天理よろづ相談所としては第1回)、4月8日から4月12日まで宮城県気仙沼市に行きました。看護職は、重倉さおりさん、泉万奈子さん、安藤理裕さんが参加しました。

同窓会としての支援や協力について、4月の幹事会で以下2点の活動を行うことを決定しました。

- 1, 天理市で3000人の被災者を受け入れるということから、要請があれば救護活動に協力することになりました。しかし、現在予想より受け入れ人数は少ないようで、まだ活動はしていません。
- 2, 同窓会費から被災教区救援、災害救援ひのきしん隊活動支援に50万円、被災者および被災地への救援金として50万円、合計100万円を拠出することを決定しました。この義援金は4月27日に道友社を通じて届けました。

次に、憩の家は平成26年1月の新入院棟開院に向かって動きが進んでいます。同窓生の方々には看護用木としての熱い想いから再び就職された方や、同窓生子弟の就職者も多く、同窓生の働きが憩の家の看護に大きなパワーとなっております。

天理看護学院では平成23年度入学生で最後になることから、実習を受け入れる立場としてもより責任を感じているところです。平成26年3月には天理看護学院は閉校となり、同窓会としてのありようについても検討まとめの必要な時期を迎えます。幹事を中心として取り組みをはじめるところですが、皆様のご理解と賛同をよろしくお願い致します。

平成22年の総会の時、先の副院長海上先生より、ブラジルに帰られた實平聖治さん八重子さんご夫妻のおぢば帰り渡航費カンパ金の呼びかけがありました。實平さんは以前看護学院で用務員をされていた方で多くの卒業生がお世話になった方です。総会の当日122500円、その後学院の近藤先生にお世話どりいただき特に関わりの深かった期生の方から、55650円、学院の職員から21850円、合計200000円ご厚意が集まりました。5月にブラジルに行かれる親戚の方を通して、直接手渡しして頂く予定です。皆様のご協力に感謝申し上げます。

同窓会活動についてご意見ございましたら、各期の幹事までお知らせ下さい。今後も同窓会活動のご支援ご協力をよろしくお願い致します。

最後になりましたが、被災された皆様が一日も早く復興されますことを心よりお祈り申し上げます。また、会員の皆様のご健勝と其々持ち場立場でのご活躍を祈念申し上げます。

## 新役員紹介

会長	鈴木あきよ (2科9期生)
副会長	宮脇佳代子 (1科1期生)
書記	小笠原芳恵 (1科4期生)・楠元香織 (2科24期生)
会計監査	柏田 真由 (1科2期生)



天理看護学院 教務主任太田容子



天理看護学院同窓生の皆さま如何お過ごしでしょうか。  
去る3月11日、東日本におきまして世界最大級の大地震、津波による甚大な被害が発生しました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに1日も早い復興を祈る日々でございます。

私は昭和60年から母校天理看護学院に勤めることとなり27年目を迎えています。その間、3度のカリキュラム改正、木造校舎から現在の鉄筋コンクリートの校舎への引っ越し、第一看護学科（現看護学科3年課程）の定員増、第二看護学科（2年課程）の閉科、助産学科の併設、全寮制の廃止など様々な動きを経験してまいりました。

歴史の流れの中で、恩師の方々が築き上げて下さった「天理ならではの看護」をいかに伝えていくのか悩み続けてきたように思います。看護に求められる内容が高度かつ複雑化し、それに対応する教育の実践に学生と教員共々悪戦苦闘する毎日を過ごしています。

今年の4月に、看護学科27期生が最後の1年生として入学しました。教育理念に共感した心優しい学生達が患者さんに寄り添える看護師になることを夢みて必死に頑張っています。最近の学生は・・・と言われますが、3年間での大きな成長を感じる時、教員としての喜びをかみしめている自分があります。学生が最も成長するとき、それは「臨地実習」です。大半を天理よろづ相談所病院（憩の家）で実習させて頂いています。同窓生から看護の心と実践力を育てて頂いて、そして卒業後も先輩と後輩が共に成長し伝統を繋いでくれていることを実感しています。

平成26年3月で天理看護学院は閉校という節目を迎える予定です。5年後には大学の卒業生が憩の家で活躍されると思いますが、同窓生の皆さまが引き続き看護教育や現任教育において「天理の看護」を繋いで下さると思うと大変心強く思います。

閉校の折りには同窓生の皆様のご協力をお願いするかと思いますが、その節は宜しくお願い致します。そして、これからも同窓生がおちばで集えることを願っています。

同窓生の皆さまがおちばで培われた心で其々の持ち場立場で益々ご活躍されますことをお祈り申し上げます。

## 平成22年度天理看護学院同窓会総会報告



平成22年10月24日（日曜日）に天理駅前ウエルカムハウスコトブキ4階万葉の間において同窓会総会が開催されました。総会では岡田三枝会長（2科10期生）のあいさつと諸事報告があり、新役員の紹介がありました。

懇親会には後輩をお育て中の山中学院長はじめ、遊田副院長多くの同窓生がお世話になった海上先生、高石先生、山本先生のご臨席をたまわり、懐かしい、穏やかな時間を138名の同窓生と過ごすことができました。開催ごとに参加者も増えにぎやかになっています。

同窓会総会は3年ごとに開催されます。次回は平成25年10月の予定です。詳細は同窓会通信でお知らせします。一人でも多くの出席をお待ちしています。

文責 鳥川直子（2科13期生）

### 参加された方よりメッセージ！

2科11期生

- ・みんなに会えて大変うれしいです。会えば何年も昔にタイムスリップしてしまいます。（遠藤恵理子）
- ・みんな変わらない笑顔、学生のままで。現状の報告会をしています。楽しい！（加来真理恵）
- ・日々に追われて生活して忘れてしまっていたことを思い出させるとてもすてきな時間でした。（中優子）
- ・初めて参加し、懐かしい人や風景に癒されて天理の学院で教えられたことを思い出しました。また、仕事や家事も頑張っていこうと思えました。（秋田正江）
- ・懐かしい方々にお会いできてうれしく思います。（中川瞳）

### 2科16期生

2科16期生たった一人で同窓会に参加しています。ただ今訪問看護のパートをしています。空いた時間で“ストーリーテラー”として保育所や小学校に訪問したり、天理教福祉課で「時報」や「陽気」の音訳ひのきしんをしています。すべて“健康”のおかげと感じています。贅沢できないながらも、日々感謝しています。(辻みどり)



### 2科15期生

・初めて同窓会総会に参加しました。私は地元の市立病院の産科・小児科・内科・外科・泌尿器科などの混合病棟で働いています。夜勤は月11~12回あり、しんどくなってきましたが、がんばっています。  
(下地陽子 旧姓：浜中)  
・現在専業主婦しています。下の子が中学生になったら、又、働いてみたいと思います。  
(鶴身教子 旧姓：寺井)  
・今回同級生が少なく寂しいです。次回はたくさん来てほしいですね・・・(林 年美)

### 2科7期生

以前一緒に働いていた先輩や後輩の人達にも多く会えて楽しい時間を過ごすことができました。皆それぞれの場所で頑張っていることに元気をもらいました。

### 2科10期生

・懐かしい人にたくさん会えてとても楽しい同窓会でした。もう少し学院でがんばります。  
(大田容子)  
・卒業後初めて参加しました。楽しかったです。  
(旧姓 軽野淳子)  
・久しぶりに同窓生に会えて楽しかったです。  
(野沢喜代子、新開喜久子 旧姓 山本)  
・笑み筋体操始めましょう (中村秀子)  
・久しぶりに同窓生と話が出来て楽しかったです。現役看護師として働いて頑張っている姿に力頂きました。(南方とき子)

### 2科6期生

6期は3人の参加でとても淋しかったです。次回はたくさん集まって楽しく昔話に花を咲かせましょうね。でもこの年になると健康第一かな？と感じます。元気にお会いする日を楽しみにしています。次期同窓会幹事は東山さん(旧姓 加藤)が頑張ってくれることになりました。みんなで応援しましょう (H22年幹事 松坂・伊吹)

### 2科12期生

・久しぶりにみんなに会えて嬉しかった。このような機会を設けてくださり、ありがとうございます。楽しい時間を過ごせました。次回は12期生10人以上の参加を目指したいです。  
・同窓会の案内を3ヶ月前くらいにして頂きありがとうございます。間近になったら再度連絡お願いいたします。(最近老化現象で・・・)



### 2科9期生

今回の総会の出席者は役員の鈴木あきよと大森繁子の2人だけでした。とても淋しかったです。次回は鈴木会長のあいさつを聞きに是非ともご出席をお願いします。(大森繁子)



平成 23 年度 学院同窓会役員

H23、1現在

第1看護学科 幹事					第2看護学科 幹事				
期	氏名	所属	氏名	所属	期	氏名	所属	氏名	所属
1期	宮脇 佳代子	白川分院	佐々木 ひとみ	院外	1期	中尾 玉恵	院外	柳瀬 由利子	院外
2期	八木 由美子	60病棟	岩田 未央	院外	2期	谷 りう子	院外	小西 文恵	健康管理室
3期	大庭 未央	院外	高田 幸恵	67病棟	3期	近藤 耐子	院外	渡辺 啓子	院外
4期	小笠原 芳恵	68病棟	田口 千里	内科外来	4期	栗林 みち代	外来	廣田 テル子	院外
5期	伊藤 さゆみ	66病棟	大木 笑子	学院	5期	加古川 恵子	36病棟	升本 良子	院外
6期	芝地 聖代子	学院	明道 薫	外来	6期	松阪 さよ子	外来	伊吹 芳江	白川分院
7期	橋本 裕子	内科外来	池嶋 三賀	50病棟	7期	中村 次	白川分院	増田 たま江	白川分院
8期	但馬 道代	外来OP	有川 由佳里	47病棟	8期	三島 佳代子	院外	水永 智英	院外
9期	竹本 小百合	OP室	田中 英行	38病棟	9期	鈴木 あきよ	58病棟	大森 繁子	院外
10期	片岡 倫代	30病棟	上田 康代	外来泌尿器	10期	岡田 三枝	38病棟	松尾 由紀子	院外
11期	西村 理佐	60病棟			11期	小野 ひとみ	医療安全	鎌塚 尚子	外来
12期	中川 享子	60病棟	瓶子 弥恵	67病棟	12期	宗岡 市子	院外	駒木 みつ子	院外
13期	小林 由美子	57病棟			13期	鳶川 直子	50病棟	弘中 文子	白川分院
14期	笠松 陽子	OP室			14期	渡辺 和代	教庁	長澤 みどり	透析
15期	水谷 元樹	67病棟	長谷川 杏里	46病棟	15期	足立 貴代美	68病棟	川久保 真美子	白川分院
16期	内之宮 継子	看護部	迫田 理佐	院外	16期	重倉 さおり	10病棟	森継 知恵美	56病棟
17期	南本 美由紀	56病棟	西村 恵理子	在宅	17期	木村 厚子	院外	仲井 文恵	59病棟
18期	西浦 寿賀子	57病棟	加藤 直樹	OP室	18期	山口 美栄子	OP室	二重 佳子	院外
19期	渡辺 美穂	38病棟	友永 智恵	67病棟	19期	有川 富久	放科	渡辺 奈保子	在宅
20期	梅本 旬男	66病棟	瀬 春名	40病棟	20期	水嶋 親美	外来	松村 尚子	49病棟
21期	高光 梨佳	放射線科	武田 まな実	61病棟	21期	稲垣 七恵	外来	片岡美喜枝	61病棟
22期	刑部なるの	56病棟	宮田めぐみ	68病棟	22期	高橋 安紀子	学院	岸 秀子	57病棟
23期	森下 典子	46病棟	佐藤 華永	40病棟	23期	北出 明子	47病棟	庄田 美幸	67病棟
助産学科 幹事					24期	草田 みち子	OP室	楠元 香織	50病棟
1期	菅野 しづよ	院外	松岡 美雪	39病棟	25期	岡本 典子	61病棟	森本 直美	外来
2期	鳩野 文子	39病棟	柳井 浩子	院外	26期	松井 直子	院外	松井 利江	学院
3期	石田 千陽	院外			27期	井上 悦子	40病棟	中川 しのぶ	61病棟
4期	中川 さやか	39病棟			28期	藤本 加代子	59病棟	井上 雅	56病棟
5期	清水 旬栄	39病棟			29期	稲塚 香織	看護部	塚野 幸	看護部
					30期	山下 和泉	39病棟	千代 茜	67病棟
					31期	村岡 真由美	泌尿器	角田 すみ代	56病棟
					32期	小川 教子	院外	志茂 陽子	院外
					33期	馬場 千秋	67病棟	芹澤 晃代	67病棟
					34期	小林 綾子	67病棟	志茂 明子	48病棟
					35期	大久保 操来	院外	林 ひろみ	50病棟
					36期	菅原 かをり	36病棟	木田 沙織	46病棟
					37期	小池 優	放科	小成 裕美	67病棟

## 救護係りより

平成15年から始めた看護用木(主に同窓生)による救護活動も少しずつ定着してきたようです。

これも皆様の御協力の賜物と嬉しく、頼もしく思っています。

又、平成21年9月より同窓生(2科2期生小西さん)が健康管理室勤務になり、お世話いただいています。

医療の現場は新聞紙上でも掲載され、周知の事と存じますがパワーは不足しています。

救護員は、スタッフ1名、OB2名で担当してありますが、スタッフは1～2年目の看護師が中心に救護を担う状況です。

救護現場は同窓生のコミュニケーションの場ともなり、お互いに得る副産物が多くあるようです。

今年度の救護ひのきしんは、こどもおちば帰り救護が中心で、期日は例年同様、7月26日から8月4日です。(震災の影響で、ゲートボール、野球大会は中止)

参加して下さる方は、下記の要領で申し込みをお願いします。

一人でも多くの方に参加していただけるようお待ちしております。

救護時間は基本的に、①と②ですが例を参考に申し込みください。(例外もOKです。)

例) ①9:00～16:00まで(昼食あり)

②18:00～22:00まで(夕食あり)

申し込み、問い合わせ電話番号

0743-63-7536 (健康管理室) (FAXも同様) or 教内専用電話 (8647)

080-5702-6732(升本良子)

\* 勤務中で応答できない時は、メッセージをお願いします)

### H22年 救護参加者数

こどもおちばがえり救護 104名

その他の救護 151名

合計 255名

今年度の救護予定を次項にてお知らせします。

文責 升本良子

